

P.46～47 確認問題 A・B

P.46 確認問題 A

- (1) We (2) us (3) Her (4) him (5) mine (6) them

P.47 確認問題 B

- (1) ウ (2) イ (3) イ (4) ウ (5) ア

【解説】

確認問題 A

- (1) be 動詞が are, あとの名詞が複数形なので, 主語は複数の We を選ぶ。
 (2)・(6) 前置詞のあとに代名詞が単独で続く場合は, 目的格(または所有代名詞)を使う。〈代名詞＋名詞〉が続く場合に注意。
 [例] They will go with *us*. (代名詞が単独で続くので目的格の *us*)
 They will go with *our* father.
 (代名詞が単独ではなく, 後ろに *father* という名詞が続くので, この場合, 所有格 *our* となる)
 (3) 後ろに名詞 *mother* があるので, 所有格。
 (4) 動詞の目的語なので目的格。
 (5) *mine* = *my notebook*

確認問題 B

- (1) 「ゾウの耳はライオンの耳より大きいです。」という文。that = the ear
 (2) one = watch. 前に出た an old watch ではなく, 別の不特定の watch を指している。
 (3) 「先週は暖かったです。」という文。天候や寒暖を表すときの主語は it。
 (4) 「野球が好きな生徒もいれば, サッカーが好きな生徒もいます。」という文。some ～, and others ... で「～するものもいれば, …するものもいる」。
 (5) 動詞が has なので, 主語は単数扱いの each。〈each of＋(代)名詞の複数形〉「～のひとりひとり, ひとつひとつ」

P.48 STEP 1

- 1 (1) ウ (2) イ (3) ウ (4) ア (5) ウ
 (6) イ (7) イ (8) ウ (9) ア
 2 (1) mine (2) your (3) Her (4) ours
 3 (1) These are (2) one (3) another
 (4) others (5) both (6) Everyone[Everybody]
 (7) anything[something] (8) it / It takes

【解説】

- 1 (2) 「そ(れ)の名前はラッキーです。」という文に。ウの It's は It is の短縮形。
 (7) Please help yourself. で「自由にお取りください。」という表現。
 (8) say to oneself で「心の中で考える」。ここでは主語が he だから, himself を使う。
 2 (1) 「あれは私の自転車です。」→「あの自転車は私のものです。」
 (2) 「あのギターはあなたのものですか。」→「あれはあなたのギターですか。」
 (3) 「彼女は和子です。」→「彼女の名前は和子です。」
 (4) 「これらは私たちのおもちゃです。」→「これらのおもちゃは私たちのものです。」
 3 (2) ふつう computer を繰り返さないで代名詞 one を使う。
 (4) 〈Some ～, some ...〉とすることもある。
 (8) It takes ～. 「(時間が)～かかる。」

P.49 STEP 2

- 1** (1) ウ (2) ウ (3) ウ (4) ウ (5) ア (6) ア
2 (1) nothing (2) we
3 (1) nothing (2) their, teacher (3) It (4) each
4 (1) them (2) this (3) me

【解説】

- 1** (1) 「このタオルは私のものではありません。あなたのものだと思います。」
(2) 前置詞のあとに代名詞が単独でくる場合は目的格。
(3) 「これはあなたのえんぴつですか。」「いいえ。彼のものです。」
(4) 動詞のあとに目的語として代名詞がくる場合は目的格。
(5) one = a car
(6) We = Megumi and I
- 2** (1) 「忙しくなければ、私の宿題を手伝ってください。」「いいですよ。今すべきことは何もありません。」
(2) 「あなたとジムは昨日駅の近くで買い物に行ったのですか。」「はい、(私たちは)行きました。彼はお姉さん[妹さん]への誕生日プレゼントを買いました。」
- 3** (1) not+anything = nothing
(2) 「ブラウン先生は彼らに数学を教えています。」→「ブラウン先生は彼らの数学の先生です。」
(3) 「先月はあまりにもたくさん雨が降りました。」という文。
(4) each other で「お互い」。動詞・前置詞の目的語になる。
- 4** (1) 前に出てきた my new shoes 「私の新しい靴」を受ける語。ここでは動詞の目的語になるので、目的格の them を使う。
(2) 「郵便局へはこの道でいいですか。」→「これが郵便局への正しい道ですか。」と考える。
(3) 「私の言うことをよく聞きなさい。」→「私をよく聞きなさい。」と考える。

P.50 読解問題

- 問1 me
問2 エ
問3 ③ 4時間目が終わったあとに、突然クラスメートたちが弁当箱を自分の机の上に出して昼食を食べ始めたこと。
⑥ 最後の授業が終わったあとに、何人かの生徒たちが教室の掃除を始めたこと。
問4 ア
問5 my own

【解説】

- 問1 前置詞 to の目的語なので目的格の me にする。
- 問2 ② something interesting で「おもしろいこと」の意味。このように something や anything などを修飾する形容詞は後ろに置く。
⑤ else は something や someone などのあとに置いて「ほかの～」の意味を表す。
- 問3 それぞれ直前の1文を指している。
- 問4 Of course they are. (もちろん、そうよ)は、その前の“Aren't your desks for studying?”「机は勉強するためのものではないの?」を受けたもので、Of course they(= our desks) are (for studying). という意味。
- 問5 〈所有格+own+名詞〉「～自身の…」

《全訳》

2週間前に北海道に着きました。日本の学校はすばらしいわ！　ここに来る前に日本についての本を何冊か読んだのよ。それでも日本の学校生活の多くのことが私には新鮮なの。

例えば、この学校での第1日目、昼食時間におもしろいことが起こったの。4時間目が終わったらね、突然クラスメートたちがお弁当箱を自分たち自身の机の上に出して昼食を食べ始めたのよ！　信じられなかったわ。だから友達のしおりに聞いたの。「机は勉強するためのものではないの？」って。「もちろん、そうよ。でも昼食を食べるときにも使うのよ。」

と彼女は答えたわ。

その日の放課後、別のことが起こったのよ。最後の授業が終わったあとに、何人かの生徒が教室の掃除を始めたの。それにも驚いちゃった。日本の学校には掃除をする職員がいないのよ。でもいっしょに掃除をしたあとは、気持ちがよかったわ。

最後に、来月に5日間の修学旅行があるの。これもおもしろそうでしょ？　アメリカの私たちの学校ではそんなに長い旅行になんて行かないものね。京都に行くからすごくうれしいな。日本の古都(京都)を自分自身の目で見ることができるんだもの。